



★おめでとうございます★1000人目の赤ちゃん★



小島朔弥(さくや)君・平成17年8月2日誕生

おめでとうございます!早速、初めての出産のご感想をお客様の小島香代子様にお伺いしましょう。

小島様:予定日になってもなかなか陣痛が来なかったで、毎日2時間くらい歩いたりしてました。産まれた瞬間は「やっとなんか来た〜」って感じてましたね。でも、想像以上に痛くて、子供は3人欲しいと思ってましたが、ちょっと考えちゃいますね。赤ちゃんが出た後、胎盤まで見せていただいて、すごいと感動しましたね。

立会い分娩をされましたか?

小:はい、主人と母に立ち会ってもらいました。血を見るのが嫌だと言っていた主人ですが、立会うことで、それまで客観的だったお産を理解してもらえたようです。これからの育児にも積極的に参加してくれるいい機会になったと思います。母は、感動してこみあげるものがあったようです。



お名前由来は?

小:「広い視野を持って、やさしい人」と人名事典で調べてつけました。3つ候補があって、生まれてきた赤ちゃんを見てから、一つを選びようと考えていたのですが、陣痛で苦しかった時に、すぐものがなかった中で、「朔弥!助けて〜」と、とっさに出てきたのが、3つのうちの1つ「朔弥」でした。不思議なことに、この子は「朔弥」だって思えた瞬間から、陣痛を乗り越えそうなのが湧いてきましたね。

どんな子に育てて欲しいですか?

小:いろいろな物を見て、いろいろな事を吸収して欲しい。小さいことを気にせず、自分でどんどん行動できるような、元気な男の子になって欲しいです。

ご協力ありがとうございました。

小島様には、後ほど記念のアルバムが贈られます。

【新入職員紹介】 中島美由紀 保育士

7月入職

「皆様はじめまして!長年の保育士の経験を活かして、お子様たちが楽しく過ごせるよう努めていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

託児室では、患者様が安心して診療を受けることができるように、お子様を安全にお預かりします。初めての時は、泣いているお子様でも2回目3回目になると、慣れて楽しく遊んでいかれますので、ご心配なさらずに、お気軽に託児室をご利用いただきたいです。」



対談:母乳に良い食事について

当院では、母乳育児を推進していますが「母乳に良い食事」について、病院の取り組みを栄養士と助産師にお話してもらいました。

ズバリ母乳に良い食事ってどんなものですか?

助:バランスの採れた、和食と言って良いかと思いません。一日に摂取する食品数は30種以上を目標にし、脂質・砂糖は控えめに。体脂肪率が高いと母乳分泌が抑制されるため、母乳分泌量の減少につながります。しかし、摂取エネルギーを減らしてもたんぱく質・カルシウム・鉄は十分に摂る必要があります。難しく構える必要はありませんが、例えば・・・動物性脂肪を控えた食事や季節の食材を活かした食事・自然食をお薦めしますね。

助:母乳に良い食事というのは、つきつめていけば、「身体に良い食事」なんですよ。

これから妊娠予定の方、妊娠中の方、お産を済ませられたお母様方にも食べていただきたいのはもちろん、ご家族の健康の為に是非お薦めいたします。またお子様の離乳食のお手本にもなると思います。普段の食生活をちょっと意識して、健康な身体づくりを心掛けたいものです

助:病院食にも「身体に良いお食事」という献立で、取り入れています。普段なかなか口にすることのない食材を、身近に感じていただけるメニューとなっています。

たとえば、「五穀飯」。精米に、きび・あわ・ひえ押し麦・はと麦を加えたご飯です。普段やわらかいものを食べがちですので、たくさん噛んで味わっていただきたいですね。近頃は、スーパーなどでも簡単に買うことができますから、皆さんにも是非試していただきたい一つです。それから先日、献立で好評だったのが、コーンのグラタンです。牛乳の代わりにスキムミルクを使い、尾瀬産の無農薬とうもろこしを入れて焼き上げました。コーンの甘みが引き立ち、脂質・カロリーを控え、高タンパク質・高カルシウムの一品です。ご家庭でも簡単にできますよ。



助:季節の食材、それから無農薬・無添加ということにも、是非意識していただきたいですね。赤ちゃんに「おいしい」おっぱいを飲ませてあげて欲しいですからね。

助:食材も「オイシックス」などを利用し、無農薬野菜や無添加食材を取り入れていますから、安心して召し上がっていただけます。

助:7月から「母親学級」でも「母乳に良いおやつ」を召し上がっていただいていますね。雑穀クッキー、季節のフルーツシャーベット、あずきの寒天寄せなどにハーブティやお番茶を添えて、これからどんなおやつを紹介していただけるのか、私も楽しみです。

助:当院の取り組みを色々などころでご紹介していきたいですね。「母親学級」「退院指導」だけでなく、ご希望の患者様には個別に栄養指導もさせていただきます。今後は、皆さんの健康づくりに役立つメニューやレシピを、ホームページに掲載できるようにもしたいと考えています。お料理教室も考えているんですよ。食事がおいしいと評判をいただいておりますがそれに甘んじることなく、これから進歩しつづける「佐藤病院」にご期待ください!

サロン形式の母親学級



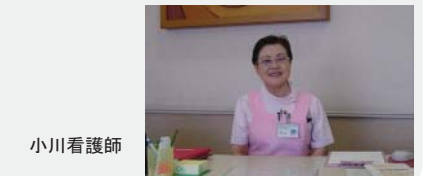
施設・職員案内 「相談コーナー」

受付横のオープンカウンターにある相談コーナーでは、妊娠届けの交付説明、院内見学会や3Dエコーの予約、母親学級や呼吸法の教室予約、入院や手術の予約や説明、電話相談、妊娠中や産後の心配事や婦人科疾患等の相談を受け付けております。

診察の待ち時間に皆様がお気軽にお立ち寄りくださって、相談しやすい場所にしていきたいと思っています。いつも笑顔忘れずに、皆様に接していきたいと、スタッフ一同心掛けています。よろしくお祈りいたします。



左: 松井看護師
右: 斎藤看護師



小川看護師

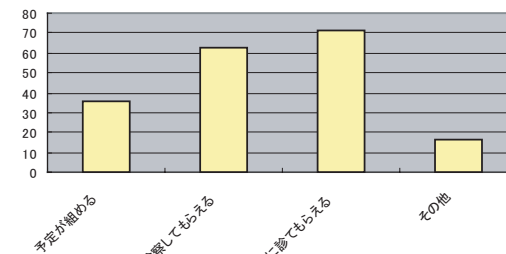
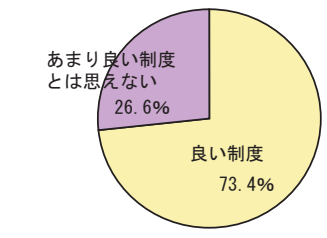
《声》アンケートより

佐藤病院業務改善委員会

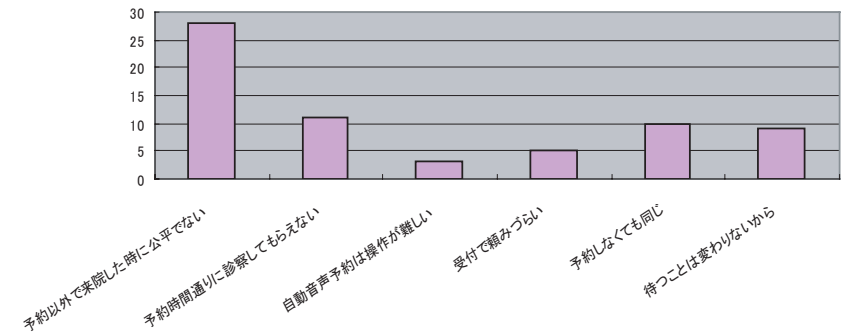
このコーナーは、よりよい病院を目指して、患者様にご協力いただいておりますアンケートやご意見箱の集計結果をもとに、特に多かったご意見とその対策をご紹介します。また、紙面をご覧の皆様からもご意見をお聞かせいただけますようお願いいたします。E-mailまたは会計窓口横のカエルのご意見箱をご利用ください。

外来アンケート集計結果(実施機関:4月11日~19日 対象:194名)

・副院長外来の完全予約制についてどう思われますか?



・あまり良い制度とはいえないと回答した理由(複数回答可)



セミオープンニュース 連携医紹介⑤ 高崎市上中居町「豊泉産婦人科・上中居こどもクリニック」 院長 豊泉清先生 佐々木弘美医師

第5弾となりました連携医紹介。今回は、高崎市上中居町の豊泉先生です。日本ペンクラブの会員でもいらっしゃいます院長先生に随筆をご寄稿いただきました。写真でご紹介の佐々木医師は、豊泉先生のご令嬢です。

分娩を増やすには・・・

昨今の日本では「少子化」が社会問題になっている。少子化とは、国全体の人口の割合に出生数が異様に少ないという意味である。マスメディアが少子化を問題視するのは、最近の日本の出生数の減り方が、人類史上に前例が無いほど異様に急激で、近い将来に様々な社会分野で深刻な歪みが生じるのは明らかだと予測するからである。出生数が減るからには必ずそれなりの理由がある。では少子化の根本原因を探してみたい。

僅か50~60年ほど前までは日本は多産国だった。どの家庭でも五人兄弟や七人兄弟が普通だった。一人の女性が十人近くも子供を産んだ。当時は食糧事情も社会環境も現在とは比べ物にならないほど劣悪だった。一言で表現すれば「貧しい時代は多産」だった。

日本だけに限れば人口が減る前兆が現れつつあるが、世界全体の人口は爆発的に増えつつある。アフリカ、東南アジア、南米などの貧しい開発途上国では昔の日本と同様に多産の傾向が続いている。しかし生活水準の高い欧米先進国はおしなべて日本と同様に少産である。つまり世界全体を見渡すと、「貧しい国は多産、先進国は少産」という図式が描ける。

日本で少子化が社会問題になるのは、日本が富める先進国の仲間入りをしたから・・・と歴史の観点から結論で

きる。ゆえに出生数の増加を望むならば、日本が再び貧乏国に逆戻りすればよいという結論が理論的に導ける。しかし実際には実現不可能だから、悲観的将来予想と批判されるかも知れないが、出生率は今後も極めて低い水準のまま推移するはずと断言せざるを得ない。

豊泉産婦人科・上中居こどもクリニック
院長 豊泉 清



豊泉 院長先生



佐々木弘美医師

佐藤病院理念
私たちは出産を中心に、女性の生涯にわたる専門病院として、優秀なスタッフによる最新医学を取り入れた診療内容を、地域社会に提供する使命を自覚し、温かみのある看護とサービスにより、患者様一人ひとりに愛される病院を目指します。

基本方針
1. 地域に密着した女性専門病院として、女性の生涯に貢献する
2. 常に学び続け、医療技術の向上を図る
3. 医療のプロとして誇りを持って行動し患者様の信頼に応える
4. 互いの信頼関係を大切にし、信頼の輪を広げる
5. 経営環境を自覚し、適応する効率と改善に努力する

患者さまの権利章典
当院は患者さまの医療に対する主体的な参加を支援するために、以下の「患者さまの権利章典」を尊重し診療を行います
1. 患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を得る権利があります
2. 患者さまには、医療従事者が提供する治療法に関して、自らの意思で決定する権利(選択する権利と拒否する権利)があります
3. 患者さまには、診療録等の開示を求めるとともに、また、診療過程で得られた個人情報(秘密)が守られる権利があります
4. 患者さまには、医療従事者に対して、患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に伝えていただく責務があります
5. 患者さまには、すべて患者様が適切な医療を受けられるために、他の患者様の治療に支障を与えないように配慮していただく責務があります